

風の会 通信

今年一年を振り返って

国政の動きでは、先の「大義なき解散」と言う憲政史上例のない暴挙の結果、いわゆる野党各党も連携協議の暇もなく、小池都知事による「希望(?)の党」構想に振り回され、結果安倍一強の流れを変えることは出来ませんでした。その結果の副産物として「立憲民主党」が発足し、反自民の受け皿となっております。今後民進党初め野党各党との連携が模索されることでしょう。現在の小選挙区制では、野党分裂のままの戦いでは自民党政治を変えることは不可能であります。安保法制・憲法改正、北朝鮮からの核攻撃の驚異、と我が国が過去経験したことのない恐怖の時代へと突入しているのではないのでしょうか！

市政の動きでは、東日本大震災から六年九ヶ月が経ちました。復旧から復興へと徐々にではありますが、新しい顔が見え始めてきました。

平成二十九年十二月
山本すすむ後援会だより六号



(北浜災害公営住宅)

これまでの職員そして全国自治体からの応援職員の皆さんの努力に感謝であります。復興予算の執行率では既に八十五%に達しようとしております。

本市水産業の拠点である魚市場も百二十一億円の復興予算によつて十月全施設オープンしました。いよいよ復興のシンボルとしての魚市場の活動が期待されます。

被災された市民の方々の新たな住まいでもある災害公営住宅も三百九十戸の整備が完了し、皆さんは不自由な仮設住宅から新

しい住まいへと移ることが出来ました。

今後は近隣の人々とのコミュニティづくりを合わせて行かなければなりません。

この災害公営住宅を連結するのが百円バスです。現在四ブロックで運行されていますが、相互乗り入れや増便運行等を要望し続けて参ります。

海岸通再開発事業もようやく建物の解体が終わわり、いよいよマンション等のいわゆる一番地区の建設工事のための入札が行われようとしております。一年ほど遅れておりますが、本市の顔でもあります海岸通り地区。是非成功して欲しいものです。「覚悟」に夢を託しております。

十二月議会から

この十二月議会提案の議案の中で注目すべきものは「国民健康保険条例」の改正です。来年度四月宮城県に移管される国保事業。その医療給費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の税率が引き下げられます。平均改定率は約十一%。一世帯当・年一万四千六百四十五円の減となります。

これは既に公表されている県移行に伴う保険税の増減予測によれば本市は十六・四%の減となつております。今回、その内数としての十一%の減額となつたものであります。一方平成二十九年度末の国保会計の基金残高が十四億円となつており、今後の使い道が議論の中心となります。被保険者のための基金の使い道を皆さんと話し合つて参ります。



(海岸通再開発イメージ図)

東日本大震災から間もなく六年九ヶ月。私も当時仙台港で港湾荷役・倉庫業を生業とする企業に勤めており、巨大津波により会社の全てを失いました。そして尊い五人の仲間を失いました。その年結婚がきまっていた女子社員。幼い子供と妻を残して命を奪われた彼。被災後仲間は、泣きながら、ただひたすらヘドロと瓦礫の中を這いずり回り、後片付けに邁進。そして今、やっと震災前の実績を上回るまでに回復することが出来たそうです。勿論仙台港（仙台港区）のコンテナ取扱量は24万「トン」と震災前の実績を突破しました。

そんな中、仙台空港と共に宮城県のみならず東北経済を牽引する仙台港が今、環境問題に揺れております。結果、蒲生干潟に生息する生物のみならず、近隣に住まいる人々の生活環境が今危機にさらされております。その危機とは？石炭火力発電所（パワーステーション）が既にこの十月に試

験運転を開始し、更に第二・第三の石炭火力（バイオマス混焼）が計画されております。何故、被災地仙台港に！それも関西や四国の電力会社が！怒りを通り越して環境に対する国・宮城県・仙台市の無策に呆れるばかり（仙台市は郡市長就任後、指導方針を制定）。

仙台港と隣接する多賀城市・七ヶ浜町では、地元住民の方々が中心となって反対運動を展開しております。

塩竈市では？まさか「国・県の基準を満たしているので反対はできません」と、でも言うのでしようか？昨年塩釜港隣接地に進出を計画しておりました建設残土処理会社の計画を水産業界及び食品会社の皆様、そして勿論貞山・港町地区を中心とした凡そ一万人を越す反対署名の結果、進出断念に追い込むことができました。

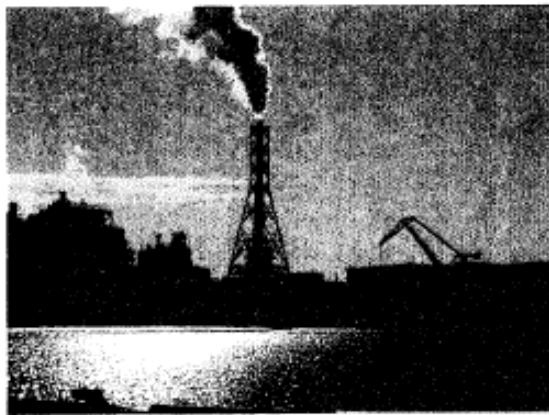
「おいしさと笑顔がつどうみなとまち塩竈」に、汚染残土処理工場は不適です。やっと風評被害から抜け出し、販売実績が七割程度まで回復した水産加工業界にと

っては真逆な企業進出計画でありました。塩竈市はやはり終始「国・県の基準をクリアしております」云々。

町を守るのは私達市民であり、次の時代に良質な環境資産を引き継いで行く責任が私達にあります。

今月から医師そして環境問題を専門とされている東北大学の長谷川公一先生のシンポジウムが予定されております。

多くの市民の皆様のご参加をお願い申し上げます。



（仙台パワーステーション）

「粗にして野だが卑ではない」。

国鉄民営化前の元国鉄総裁石田礼助氏の言葉。少々言動が粗野ではあるが、人間性までは卑しくはない、との意味か。

希望の党を立ち上げた小池都知事が発した言葉。「排除します！」は、言動そして人間性も卑劣なものであった。政治求められる必要な資質は、常に私心を捨て、国民を愛し、国民の幸せを第一義に考え、行動することでは。

とんでもない偽政治家が生息していたものです。

私も「他山の石」と致します。

お別れ

別れは常に突然に！と、言われておりますが、私にとって市役所職員時代の友人二人との別れは、突然であるだけに、未だに信じられず悲しい。「綿晋さん」私と同じ年。ヨットマン。そして「小野章さん」二歳年下。ミュージシャン。今小野さんのBGMで綿さんがヨットを操船しているのでは。

心から「冥福をお祈りします」。